

有田地方地域連携パス もしものためのノートをご存知ですか・・・

ご自身のプロフィールや病歴、服用中のお薬などを書くことで、かかりつけ医 訪問看護やデイサービス、地域包括支援センターなどで、情報を共有しスムーズに医療や介護が受けられる事を目指したノートです。

内容は・・・

- ・基本 地域連携同意書
- ・わたしのプロフィール
- ・認知症チェックシート
- ・問診表（認知症の症状がある方）
- ・認知症進行度チェック表
- ・主治医・医師 記載欄
- ・内服薬説明書 貼り付け欄
- ・血液検査等結果 貼り付け欄
- ・予防接種等 記入・貼り付け欄
- ・介護保険の情報
- ・現在治療中の合併症と治療薬
- ・わたしのあしあと
- ・もしもの時のために
- ・メッセージ（伝えたいこと）

ご自分の歩まれてきた道を書き記したり、現在のご病気や服用中のお薬のこと、今後の希望や、延命治療のこと、棺に何をに入れて欲しいなど・・・
このノートは、言うなれば【自分ノート】であります。
一度書いたから終わりではなく、ご自分の状態やお考えが変わるごとに見直し、書きかえてくださいね。



世間では、終活ブームと言われています。ですが、人はどうしても「生きていることが当たり前という感覚に陥ってしまいます。

延命治療について話をしよう！なんて言うと、『やめてよ！縁起でもない』と、なってしまう方がほとんどかと思えます。

故 松下幸之助氏の著書「道をひらく」の中に、「生と死」というエッセイがあります。

生と死とは表裏一体。

だから、生の準備はすなわち死の準備である。

だが、死を恐れるよりも、死の準備のないことを恐れた方がいい。人はいつも死に直面しているからこそ、生は尊い。

誰でもいつでも、命にかかわる大きな病気やケガをする可能性があります。

命の危険が迫った状態になると、約70%の方が医療やケアなどを自分で決めたり望みを人に伝えたりすることが、できなくなると言われています。

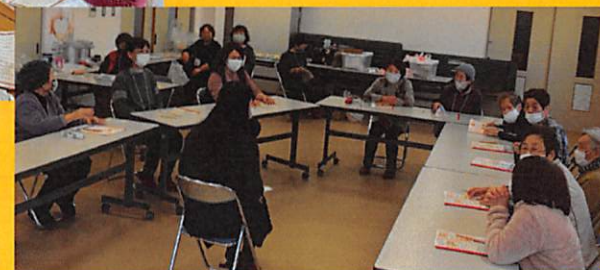
今の自分の気持ちをきちんと表現できる元気なうちに、もしもの時のことを考えておきませんか。

いかに死ぬかではなく、いかに最期まで自分らしく生きるかと捉えてみるといいかも知れないですね。

ご自身が大切にしていることや望んでいることを前もって考え、ご家族や信頼している人たちと話し合い、共有することが大切です。



広川町のサロンへお邪魔しました～📎



在宅医療サポートセンターの役割

在宅医療サポートセンターでは、住民のみなさまが住み慣れたご自宅や地域で、自分らしく安心して医療と介護のサービスを受けていただけるよう、有田川町・湯浅町・広川町の委託を受けて運営・活動をしています。

ご高齢などにより外来通院が困難になった、退院したら往診してくれる先生を探している、かかりつけ医が居なくて困っているなどの方々に、医師や歯科医師を紹介したり、在宅医療に関する地域の情報をお届けしております。お気軽にご相談ください。

また、中面にも記載していますが、みなさまがお集まりになる

地域のサロンや、体操教室、老人会などへ出向き【もしものためのノート】の紹介や、ACP(人生会議)についてのお話をさせていただいております。

ご興味のある方、サロンのみなさま ぜひお声かけください。

有田医師会在宅医療 サポートセンター

〒643-0004有田郡湯浅町湯浅2430-77
TEL090-6970-6303 FAX(0737)63-6309

Mail: support@arida-support.com

相談員 江川美奈江



有田医師会 在宅医療サポートセンターだより Vol. 7

みなさま、お久しぶりでございます。そしてはじめましての方々、はじめまして。

コロナ禍、なんとか乗り切れておられますか？

有田医師会在宅医療サポートセンターからのサポセンだより、今までは関係各所に配布しておりましたが、もっと広く住民の方に知っていただきたいと、広く配布させていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

有田郡の行政の皆様は、コロナに対しては素晴らしい働きをしてくださいました。予防接種の予約や事務処理を一手に引き受けて下さり、順調にワクチンもゲットしてくださり、集団も個別も、我々医師は気持ちよく仕事をさせていただきました。ありがとうございました。ことほど左様に、素晴らしい地域に、医師も住民も居るのです。医療や介護にも自信をもって、有田郡が一番すばらしいと、私は言いたいです。

コロナと共生していく時代にはなるのかもしれませんが、その時代にあった、医療、介護、看取りを、みんなで頑張っていきましょう。

コロナ禍で写真を撮っていただくことも減りました。今回は、最近うちの子になった、チャンネル2世君の写真でお茶をにぎしましょう。

有田医師会在宅医療サポートセンター長
野田 倫代

